



所新聞
行日
発行
磐城市
福島県磐城市
電話387番
編集兼
社長
瀬村清

磐城櫻

うまい酒!
長瀬酒造場
電話一九九番

緊急協議会で 磐城綜合グラン誘致

磐城市特別委員を挙げ運動推進

過を新妻市議より報告があつた。終つて綜合グラン建設について立花市長より議案説明あり協議に入れる。

財政窮迫で 市有地を拂下げる

磐城市議会協議会で決定

江名と泉の郵便局の集配が小名浜局に統合されて無集配局とされたので崎港に出航する際、海圖を手にして仙台郵政局に陳述

「あんた達の首より局の存置が大切だ」と強硬な反対陳情、さてこの結果はどうなる事や

この等の情勢を勘案する時、生彩を欠いていた。

市長一存で計り兼るので結局特別委員会を設置し、委員会を置いてこの問題を考えて行き度い。となり、委員を議長指名で左の七名を決定した。

(重) 木田市議、批判的佐藤貞吾、齋藤誠吾、木

田谷平、小野務平、加澤

竹田、杉山市議

田谷平、小野務平、加澤

は他はこの問題に對し日高三郎、木村祐、杉山美

佐雄

硬に誘致を主張する小林

（重）木田市議、批判的佐藤貞吾、齋藤誠吾、木

田谷平、小野務平、加澤

は他はこの問題に對し日高三郎、木村祐、杉山美

佐雄

特別委員

（重）木田市議、批判的佐藤貞吾、齋藤誠吾、木

田谷平、小野務平、加澤

は他はこの問題に對し日高三郎、木村祐、杉山美

佐雄

（重）木田市議、批判的佐藤貞吾、齋藤誠吾、木

田谷平、小野務平、加澤

は他はこの問題に對し日高三郎、木村祐、杉山美

たつた三時間の假泊で

磐城丸 北洋に向う

磐城丸が東京のマグロ相場を狂わせた程の漁獲高を示し、なつかしの母港小名浜に歸港しながら一泊もせずにその儘日に第一回操業を開始しました。船員も魯漁業との備船契約による新漁場の北洋に向つて出航した。

既報の如く縣水産試験場にて第一回操業を開始しました。船員も

指導船磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた。

石井船長は磐城丸處女航海の体験を疲れた色

愈々七月一日から小名浜競輪場で開催される夏期職場野球大会では運輸省が都市対抗に出場し、春の職場野球大会では運輸省が都市対抗に出場し、春の職場野球大会では運

五市議員野球試合

もA、B組に分れて、こ

一戦である。

聯盟本部の消防署チームもA、B組に分れて、こ

一戦である。

磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた。

石井船長は磐城丸處女航海の体験を疲れた色

愈々七月一日から小名浜競輪場で開催される夏期職場野球大会では運

五市議員野球試合

もA、B組に分れて、こ

一戦である。

聯盟本部の消防署チームもA、B組に分れて、こ

一戦である。

磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた。

石井船長は磐城丸處女航海の体験を疲れた色

愈々七月一日から小名浜競輪場で開催される夏期職場野球大会では運

五市議員野球試合

もA、B組に分れて、こ

一戦である。

聯盟本部の消防署チームもA、B組に分れて、こ

一戦である。

磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた。

石井船長は磐城丸處女航海の体験を疲れた色

愈々七月一日から小名浜競輪場で開催される夏期職場野球大会では運

五市議員野球試合

もA、B組に分れて、こ

一戦である。

聯盟本部の消防署チームもA、B組に分れて、こ

一戦である。

磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた。

石井船長は磐城丸處女航海の体験を疲れた色

愈々七月一日から小名浜競輪場で開催される夏期職場野球大会では運

五市議員野球試合

もA、B組に分れて、こ

一戦である。

聯盟本部の消防署チームもA、B組に分れて、こ

一戦である。

磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた。

石井船長は磐城丸處女航海の体験を疲れた色

愈々七月一日から小名浜競輪場で開催される夏期職場野球大会では運

五市議員野球試合

もA、B組に分れて、こ

一戦である。

聯盟本部の消防署チームもA、B組に分れて、こ

一戦である。

磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた。

石井船長は磐城丸處女航海の体験を疲れた色

愈々七月一日から小名浜競輪場で開催される夏期職場野球大会では運

五市議員野球試合

もA、B組に分れて、こ

一戦である。

聯盟本部の消防署チームもA、B組に分れて、こ

一戦である。

磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた。

石井船長は磐城丸處女航海の体験を疲れた色

愈々七月一日から小名浜競輪場で開催される夏期職場野球大会では運

五市議員野球試合

もA、B組に分れて、こ

一戦である。

聯盟本部の消防署チームもA、B組に分れて、こ

一戦である。

磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた。

石井船長は磐城丸處女航海の体験を疲れた色

愈々七月一日から小名浜競輪場で開催される夏期職場野球大会では運

五市議員野球試合

もA、B組に分れて、こ

一戦である。

聯盟本部の消防署チームもA、B組に分れて、こ

一戦である。

磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた。

石井船長は磐城丸處女航海の体験を疲れた色

愈々七月一日から小名浜競輪場で開催される夏期職場野球大会では運

五市議員野球試合

もA、B組に分れて、こ

一戦である。

聯盟本部の消防署チームもA、B組に分れて、こ

一戦である。

磐城丸は、今春四月十九日清水港出発以来漁獲総計六万六千貫で東

波濱万里西印度洋海域に京水揚に際してはマグロ

漁場調査の爲活躍中であつたが、去る二日午後六時から濃霧を衝いて石井船長以下三十六名の乗組員何れも元氣一杯で、なつかしの母港小名浜に歸港してきた。

然も日程の急がしさは上恒例の夏期職場野球大会

陸の暇もなしに漁具等を始つて、いよいよ漁獲の昨年同様A、Bの両クラスを競りながら漁獲を積み重ねて行つた